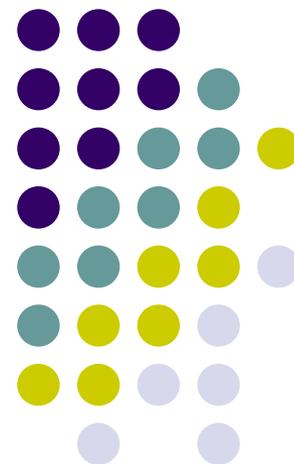


中野区基本計画策定

星委員作成資料

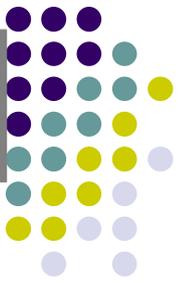


これからの課題

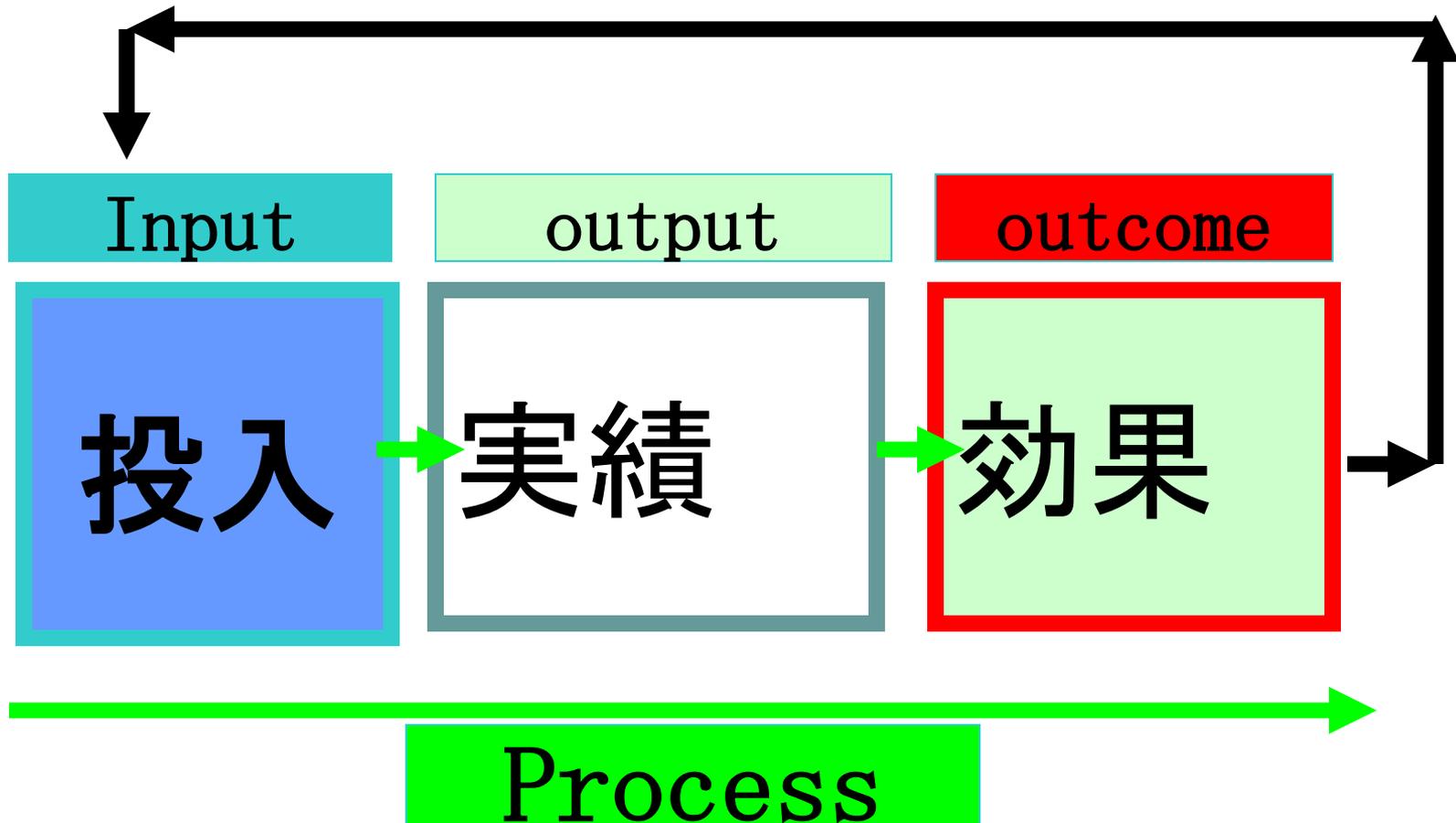


1. 手段と目標の区分
2. 実績と効果区分
3. 経年変化も含む
4. 事前評価計画の必要性
5. 具体的な改善に活用

■ 改善が最も大事



Feedback Integration kaizen



提案・計画策定プロセス

1. 手段を目標にせず
2. 実績と効果の区分
3. 経年変化
4. 評価計画を事前に
5. 評価の目的は改善
6. 改善策を模索する

視野におくべき視点①



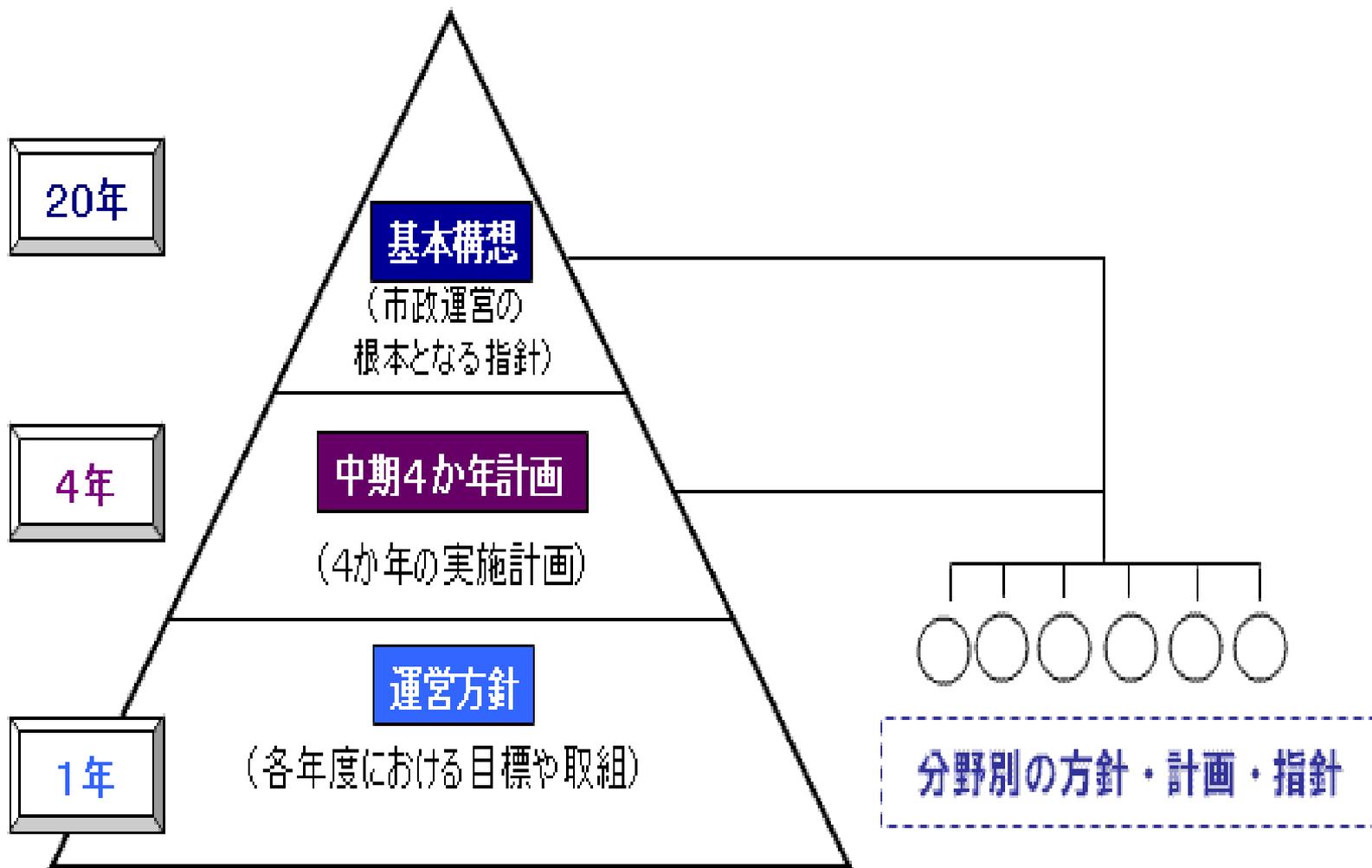
1. 最終効果例：平均寿命、
要介護認定割合、自殺数、
虐待、低体重児数の検討
 1. 健康較差と経年変化
 2. 事業の有効性検証
 3. 効果的事業模索
 4. 議論すべき優性性の検討

視野におくべき視点②

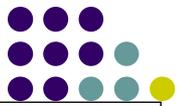


1. 健康較差拡大
2. 最大背景：所得較差と非定職
3. 世界の動向：実態と施策
4. 実態の視覚化と関係者共有
5. 区民との情報共有化と協働
6. 改善プロセスも区民と共有化
- 7.

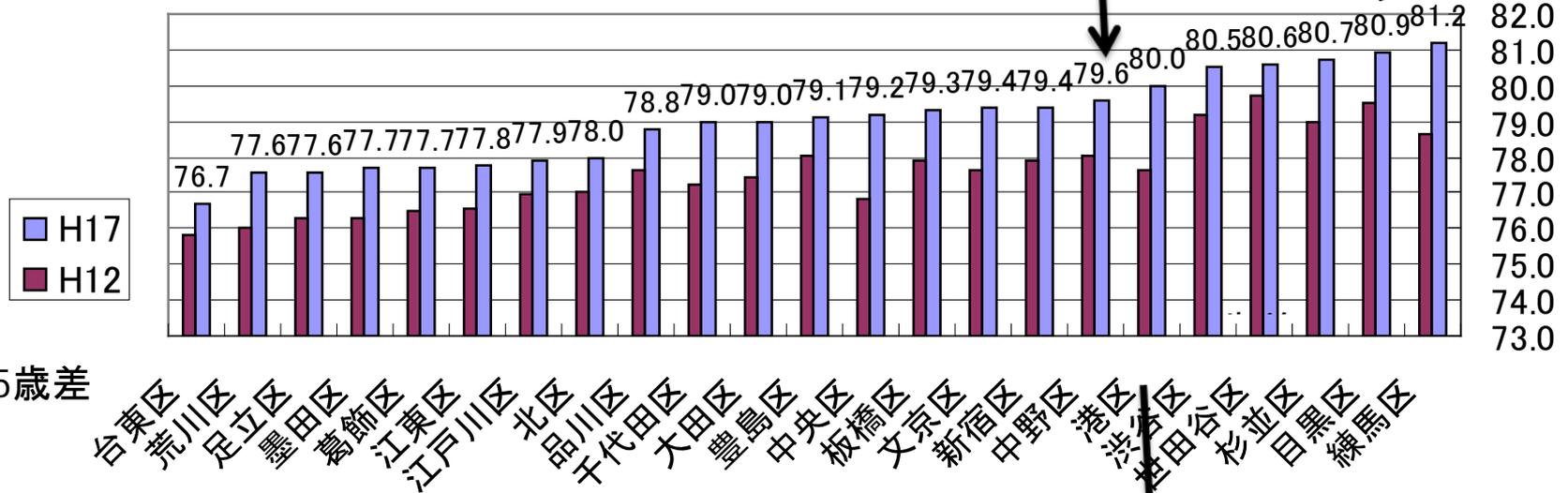
各計画の位置づけ・事例・横浜市



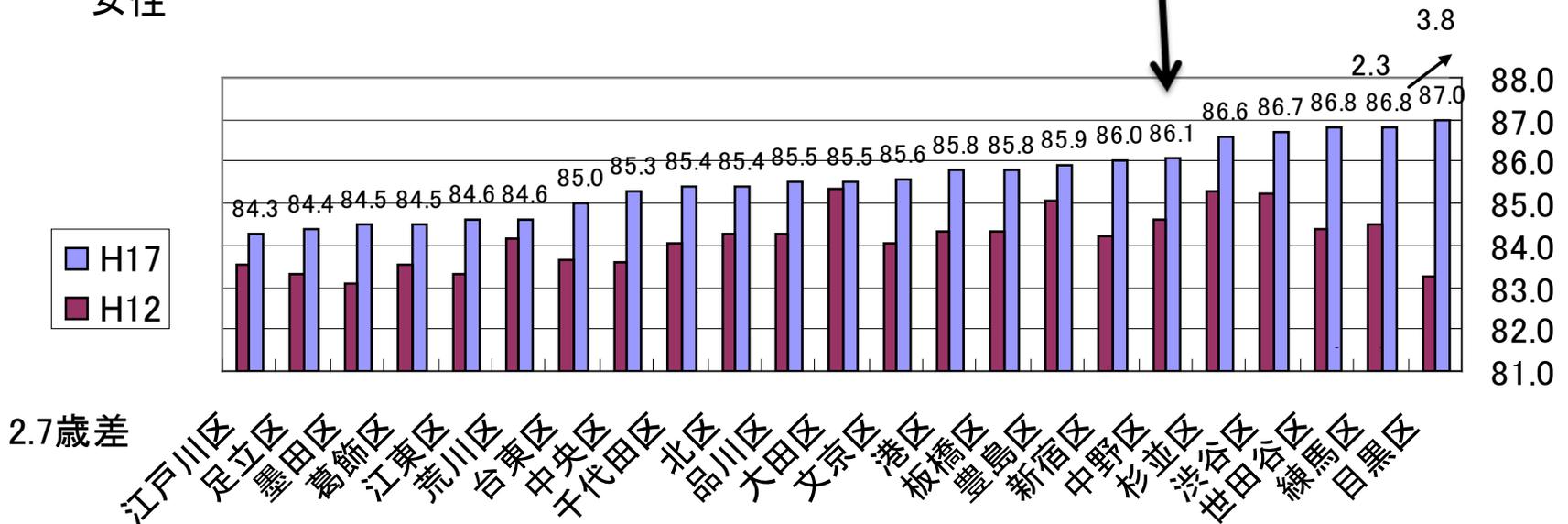
23区平均寿命 平成12年と平成17年



男性

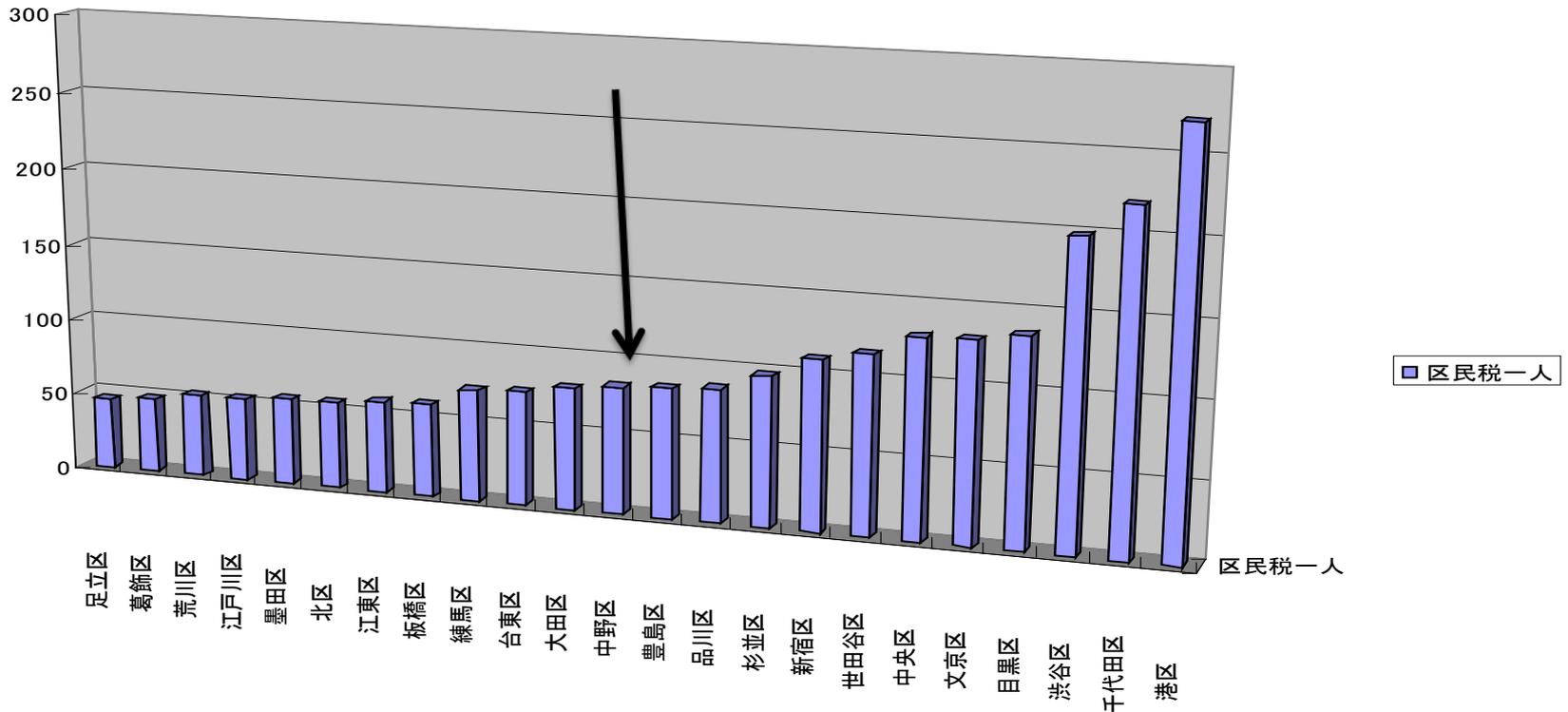


女性



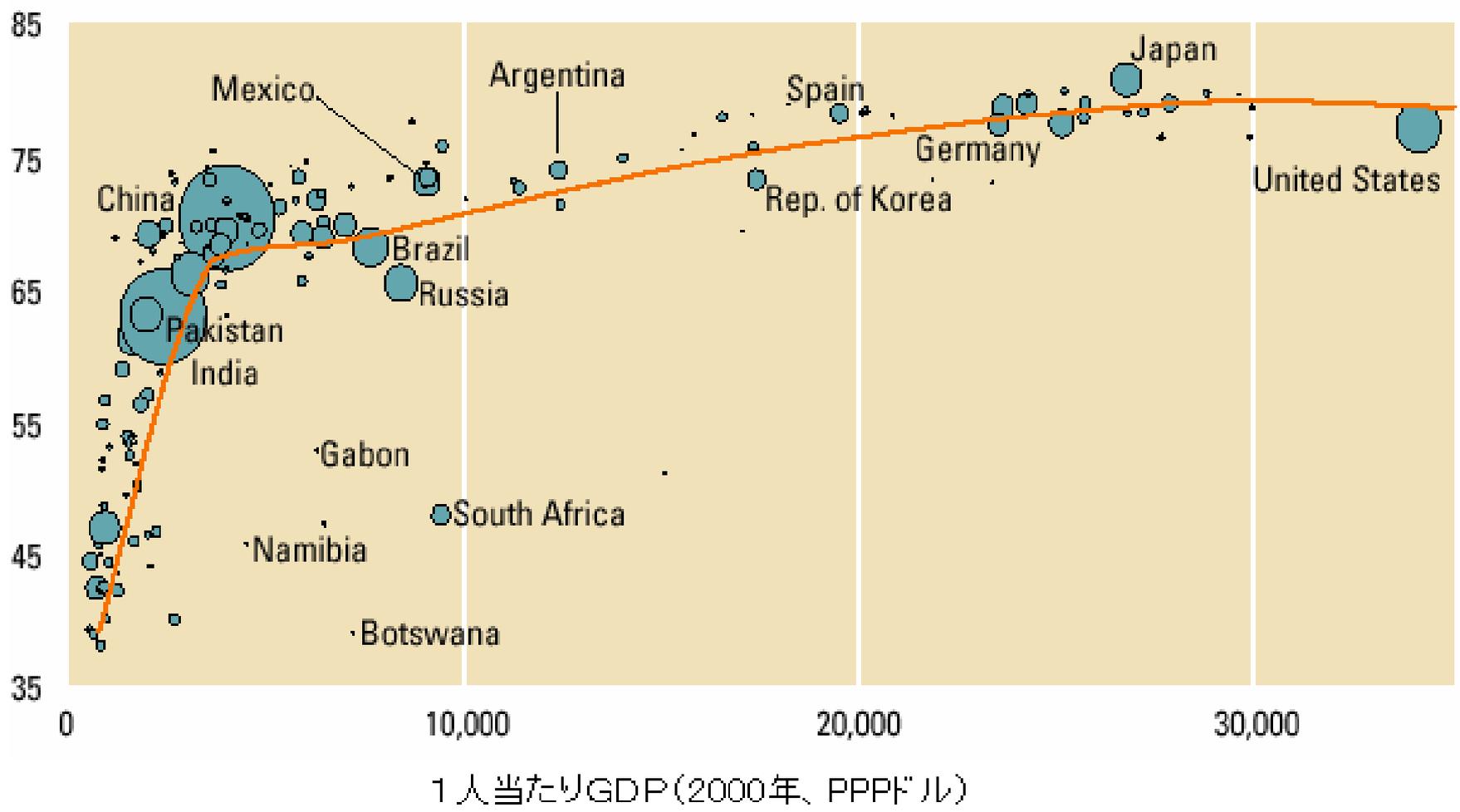
特別区別にみた一人当たりの区民税 2005年 単位・千円

区民税一人



国民総生産額と平均寿命との関連

歳(平均寿命、2000年)



(注) 曲線の当てはめは人口ウェイトを考慮し非変数的に行っている。国のプロットは人口規模に比例した円で行っている。

(資料) 世界銀行「世界開発報告2006」

東京都自治体要介護割合2012

